



# ホストコミュニティ在住のシリア難民の 子どもたちの心理社会的ケア

工位夏子  
公益社団法人 日本国際民間協力会 (NICCO)

2014年 5月17日

ザルカ県に避難してきたシリア難民の子どもたち及びホストコミュニティのヨルダン人貧困層の子どもたちに対し、紛争体験によって生じたトラウマや避難生活及び日常生活のストレス等の問題に対処できるよう、専門家の策定した心理社会的ケアワークショップを提供する。

## ヨルダン全土



## 首都アンマンとザルカ県ザルカ市



## 子ども向け心理社会的ケアワークショップ

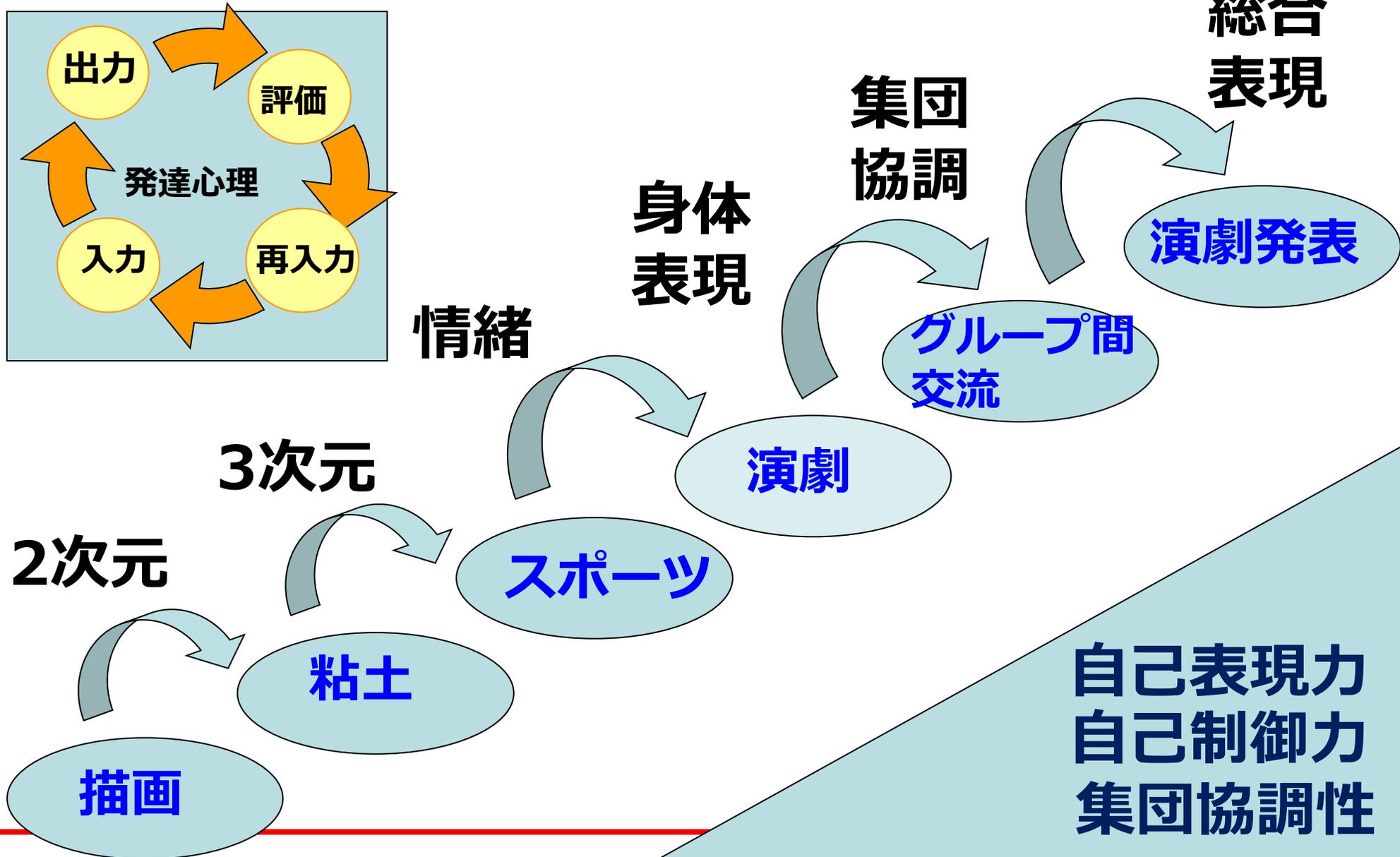
- 描画
- クレイモデル
- スポーツ
- グループ間交流
- 演劇
- 演劇発表会



ハーリッドくん。将来の夢は(困っている人を無料で乗せてあげられる)タクシードライバーになること

2013年2月から2014年2月にかけて112名の子どもたちが参加。  
演劇発表会には、子どもたちの家族885名が出席。  
2014年2月より、参加者を倍増してプログラム継続中。

# 子ども向け心理社会的ケアワークショップ概念図















14歳のシリア難民の少女、アサーラ

心理社会的ケアワークショップ参加前にシリアで撮影



14歳のシリア難民の少女、アサーラ

心理社会的ケアワークショップ参加後  
NICCOザルカ支援センターにて撮影



子ども向け心理社会的ケアワークショップ及びインフォーマル教育は、国連機関 (UNICEF) が主導する教育セクター・ワーキンググループ会合及びプロテクションセクターのチャイルドプロテクション・サブワーキンググループ会合に参加するとともに、ヨルダン教育省とも密に連絡を取り、情報共有と調整を行った上で実施。

支援物資の中でも、就学児童向けの文房具の配布は、教育セクターの活動に含まれている。



